

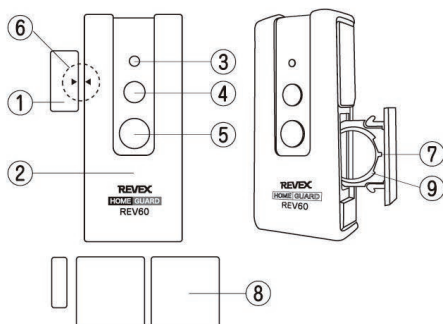
60 概要

- このセンサーは送信部本体の横に設置したマグネットが離れると、マグネットの磁界が送信部の内部のセンサーで感知できなくなり、ID電波を送信します。このID電波をあらかじめ登録した受信機が受信すると、チャイムやアラームが鳴ります。

60 使用上のご注意

- 本機は単独では使えませんので、必ずホームガードシリーズの受信機をご使用ください。登録方法は受信機により異なりますので、使用する受信機の説明書をご参照ください。
- このセンサー送信機は防雨構造で屋外でも使用することができますが、ホースなどで故意に水をかける、洗う、水につけるなどはしないでください。
- 本機は床面から1m以上離して使用してください。
- 長い間安心して使用するには、電池切れランプが点滅していても一定期間ごと（6か月毎を推奨）に電池を交換してください。
- マグネットと本体は10mm以内の距離に保つように固定してください。（鉄製の扉やドアにマグネットを取付ける場合はできるだけマグネットと本体を近接させてください）

60 各部の名前と説明



- ①マグネット（両面テープ付） ②送信部本体（両面テープ付）
- ③動作表示ランプ：動作状態を表示します
グリーン点滅：OFFモードになる時4回ゆっくり点滅
レッド点滅：即時アラームモード時4回点滅、または、電池切れ表示（点滅し続ける）
グリーンとレッドが交互に点滅：遅延モード時4秒間交互に点滅
- ④モード切り替えボタン
「OFF」/「即時アラーム」/「遅延アラーム」モードを選ぶときに使用します。
- ⑤解除ボタン
即時アラームモードを解除するときに押すとOFFになります。
また、遅延アラームモードを解除するときにモード切り替えボタンと同時に押すとOFFになります。
- ⑥マグネット設置位置表示矢印 ⑦電池ケースカバー
- ⑧両面テープ 本体固定用1枚、マグネット固定用1枚 ⑨透明絶縁フィルム

60 電池寿命、電池切れ表示および電池交換方法

- ご購入いただいた商品はテスト電池を内蔵しています。ご使用にあたって、マイナスドライバーなどで引き出し、電池ケースに差し込んである透明フィルムを引き抜いてください。

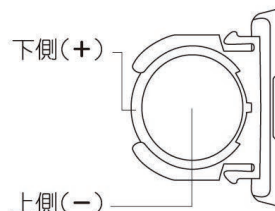
- 電池寿命は20℃で1日10回動作して約1年間です。

■電池交換方法

- (1)電池はボタン型リチウム電池CR2032を1個使用します。新品電池をご用意ください。
- (2)電池ケースをマイナスドライバーなどで外し、電池をスライドして抜きます。
- (3)新品電池を、プラスマイナスの表示に注意して差し込みます。電池を触る手は清潔にしてください。
- (4)電池蓋を閉じます。
- (5)電池を交換した時は、緑ランプが4回点滅し、「OFF」になります。ご使用になる場合はモード切り替えボタンを押し「即時モード」または「遅延モード」にしてご使用ください。

■電池切れ表示

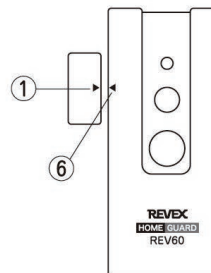
- (1)電池残量が少なくなると、赤ランプが2～4秒毎に短く点滅します。この表示は約1週間継続して光ります。
- (2)電池切れ表示が始まると、送信しませんので早急に電池を交換してください。



60 ドア窓センサーのIDコード登録

【専用IDの登録方法】

- (1)取り付け前に机に置いて、動作確認をしてください。
- (2)本体の小さなマグネット設置位置表示⑥の矢印の先に、マグネット①の矢印を向き合わせて置きます。（右図参照）
- (3)ドア窓センサーから0.5m～5m離れた場所に受信機を置き、電源をONにします。
- (4)IDコードの受信機への登録



- ・ドア窓センサー送信機は、それぞれ異なる混信防止用IDコードを持っています。このIDコードを受信機に登録します。

- ・登録方法については、ご使用になる受信機の登録方法の説明に従って登録してください。

- ・登録操作は、次の【ドア窓センサーの動作】をお読みいただき、動作確認をしてから、【即時モード】でマグネットを送信部から離し、電波を出す操作を行ってください。

電波が出ると赤ランプが約1.5秒間点灯します。送信した電波のIDコードを受信機が受信して登録します。

60 ドア窓センサーの動作

(1) モードの動作説明

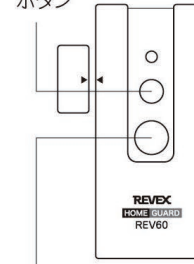
【OFF】：ドア窓センサーの電源が切れます。マグネットが離れても動作しません。

【即時モード】：マグネットが離れると、すぐに電波が出ます。在宅時にドアが開いたらチャイムが鳴るといった使用方法に最適です。また、窓に設置して、侵入者がドアを開けたらすぐにサイレンが鳴る使い方もできます。

【遅延モード】：マグネットが離れると、10秒後に電波が出ます。外出時にはご自身がドアを開け10秒以内に外出すれば、センサーは感知しません。帰宅時は、10秒以内に解除すれば電波は出ません。(解除方法は下記をご覧ください)。

ドアから侵入者が入る時はドアを開けて10秒後に電波が出ますので、この電波を受信サイレン(REV200)または8CH受信チャイム&サイレン(REV500)が受信すれば、サイレンを鳴らす或いは通報する(オートダイヤラーREV1000接続時)ことができます。*電波が出ると赤LEDが約1.5秒間点灯します。

モード切り替え
ボタン



解除ボタン

(2) モードの切り替え方

「モード切り替えボタン」を押すたびに2つのモードが変わります。

押す⇒【即時モード】(赤ランプが5回点滅)⇒【遅延モード】(赤と緑ランプが交互に4回点滅)…これを繰り返します。

【即時モード】を【OFF】モードにするには、「解除ボタン」を1回押します。この時、緑ランプが4回点滅します。

【遅延モード】を【OFF】モードにするには、「モード切替ボタン」と「解除ボタン」を同時(1秒以内)に押します。この時、緑ランプが4回点滅します。

*【遅延モード】に切り替えて10秒以上経つと、「モード切替ボタン」を押しても、「解除ボタン」を押しても、何も動作しません(ロック状態)。

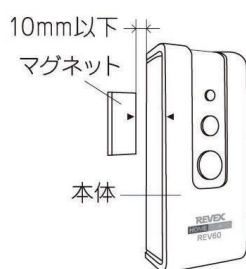
60 マグネットと送信部の設置方法

(1) 下図のように、マグネットを送信部の▼マークに合わせて、間隔が10mm以下になるように近接して設置してください。

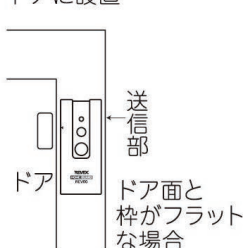
この間隔が離れると送信部のスイッチが動作し、電波を出します。このとき赤ランプが約1.5秒間点灯します。

(2) ドアに設置するには、小さい方(マグネット)をドアに、大きい方(送信部本体)をドア枠に、付属の両面テープを用いて貼り付けます。貼り付ける部分は、ほこりや油をきれいにふき取っておいてください。

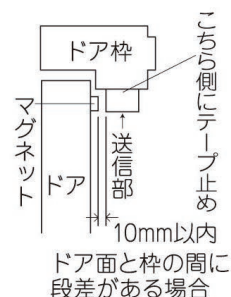
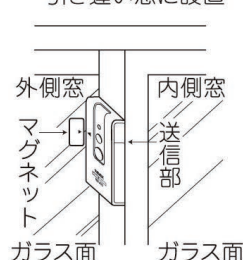
(3) 引き違い窓に設置するには、マグネットを外側窓の窓ガラスに、送信部を内側の窓枠に設置すれば、2枚の窓を同時に監視できます。



ドアに設置



引き違い窓に設置



60 仕様

小電力セキュリティ ワイヤレス送信機
ドア窓センサー送信機(屋内・屋外兼用) REV60

電源電圧		DC3V(ボタン型リチウム電池 CR2032x1 個) 内蔵(テスト用)
消費電流		待機時 5μA 以下、送信時 10mA
電池寿命		20℃で1日 10 回動作して約 1 年間
電池切れ表示		赤ランプが 2 ～ 4 秒おきに 0.1 秒間約 1 週間点滅
マグネット感知範囲		10mm以下
送信表示		赤ランプが1.5秒間点灯
モード切り替えスイッチ		①OFF ②即時アラーム ③10 秒遅延アラーム
モード切り替えランプ		①OFF 時緑ランプ 4 回点滅 ②即時アラーム時赤ランプ 5 回点滅 ③遅延アラーム時赤と緑ランプが交互に 5 回点滅
解除スイッチ		①遅延アラーム解除：解除スイッチとモード切り替えスイッチを同時に押すと OFF モードになる ②即時アラーム解除：解除スイッチを押すと OFF モードになる
送信周波数		426.8375MHz
送信出力		10mW 以下
送信距離		屋外見通し最大 200m/ 屋内見通し最大 100m
使用温度範囲		－20℃～＋45℃
防水性		IP44 防滴(防沫) 構造
外形寸法	送信部	高さ 80x幅 33.7x奥行 20.5mm
	マグネット	高さ 23.2x幅 11.2x奥行 6.5mm(奥行きは両面テープの厚みも含む寸法)
質量		送信部 38.2g(電池を含む) マグネット 5.6g
本体材質		ABS 樹脂